



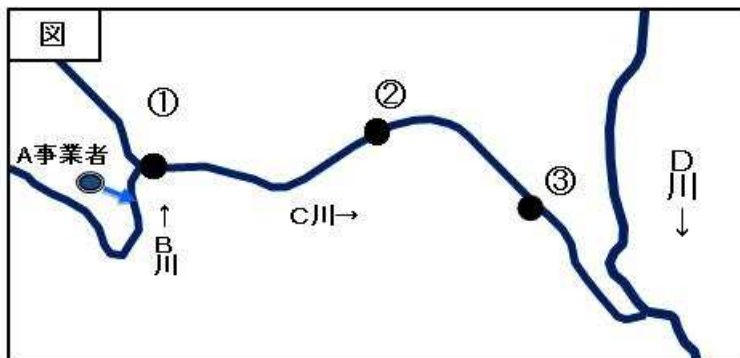
事業所内で経年劣化等による配管の腐食や、倒壊のおそれのある設備はありませんか！？

A事業所内で、経年劣化による強度低下により、タンクが倒壊し、廃塩酸が河川に流出する水質事故が発生しました。河川からは環境基準を上回る重金属類が検出されたため、農業用水の取水制限が実施され、周辺へ大きな影響を及ぼしました。

事故概要

平成25年6月19日、埼玉県内のA事業者（溶融亜鉛メッキ加工業）のタンク（容量20m³）が倒壊し、貯蔵されていた濃度約9%の廃塩酸約7m³が土壌へ浸透、又は場外側溝へ流出。

埼玉県が行った水質調査で、B川、C川で環境基準を超える濃度の重金属類が検出。



農業用水の取水制限を実施

事故への対応

原因者のA事業者は、廃塩酸の回収等流出防止策と今後の設備管理体制を見直した。

埼玉県では、水質の継続監視と、A事業者への指導、他の事業所への注意喚起等を行った。

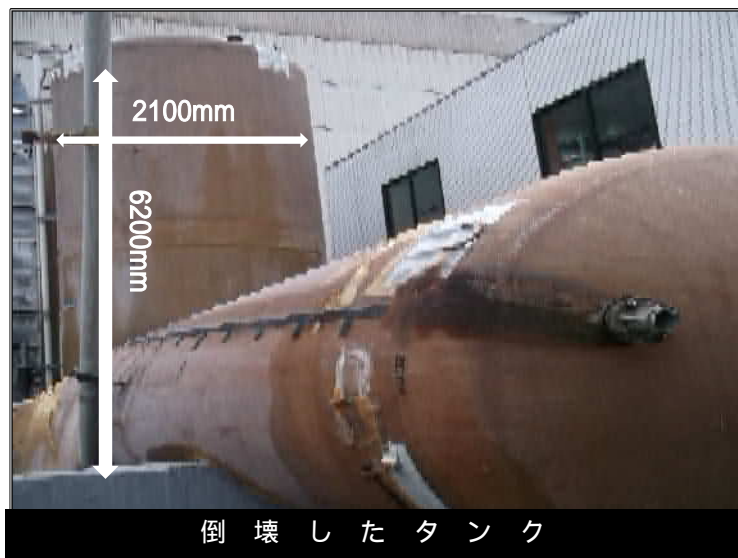
	監視地点①			監視地点②			監視地点③		
	pH	亜鉛	鉛	pH	亜鉛	鉛	pH	亜鉛	鉛
6/19	7.0	0.390	0.005	6.9	3.6	0.020	7.3	0.085	N.D.
6/20	7.0	0.087	0.002	7.3	0.089	N.D.	7.4	0.052	N.D.
6/21	7.1	0.030	0.001	7.3	0.033	N.D.	7.4	0.035	N.D.
6/22	7.2	0.020	0.001	7.4	0.026	N.D.	7.4	0.024	N.D.
6/23	7.5	0.019	0.001	7.8	0.022	N.D.	7.7	0.020	N.D.

太字は環境基準超過を示す。亜鉛及び鉛の単位[mg/L]
環境基準 - 亜鉛:0.030mg/l、鉛:0.01mg/l

タンク倒壊の原因

原因は、事業所内の繊維強化プラスチック(FRP)製のタンクが、設置から15年以上経過しており、強度が低下したことから、倒壊したと推定。

耐腐食性に優れ、酸・アルカリ溶液の貯蔵に一般的に用いられている。



設備や施設状況の確認を、再度徹底してくださるようお願いします！

- ・設備の定期点検は行っていますか。
- ・設備の適切な修繕・更新を実施していますか。
- ・排水系統は把握されていますか。
- ・タンク等の設備は正しい施工状態ですか。
- ・設備の日々の使用及び使用状況のチェックを行っていますか。
- など...

水質事故が発生した場合、原因者は対策費について損害賠償を求められる可能性があります。